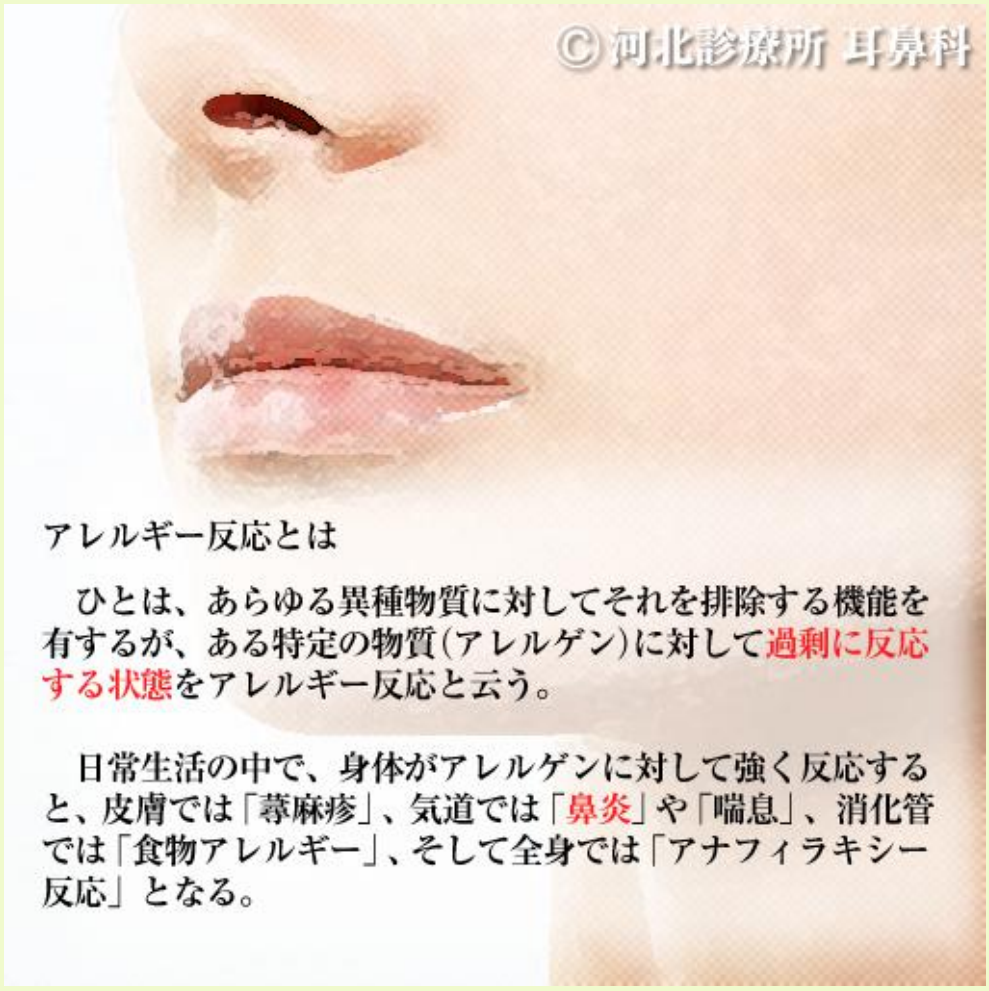
印刷して読まれる方はこちら

アレルギー反応とは



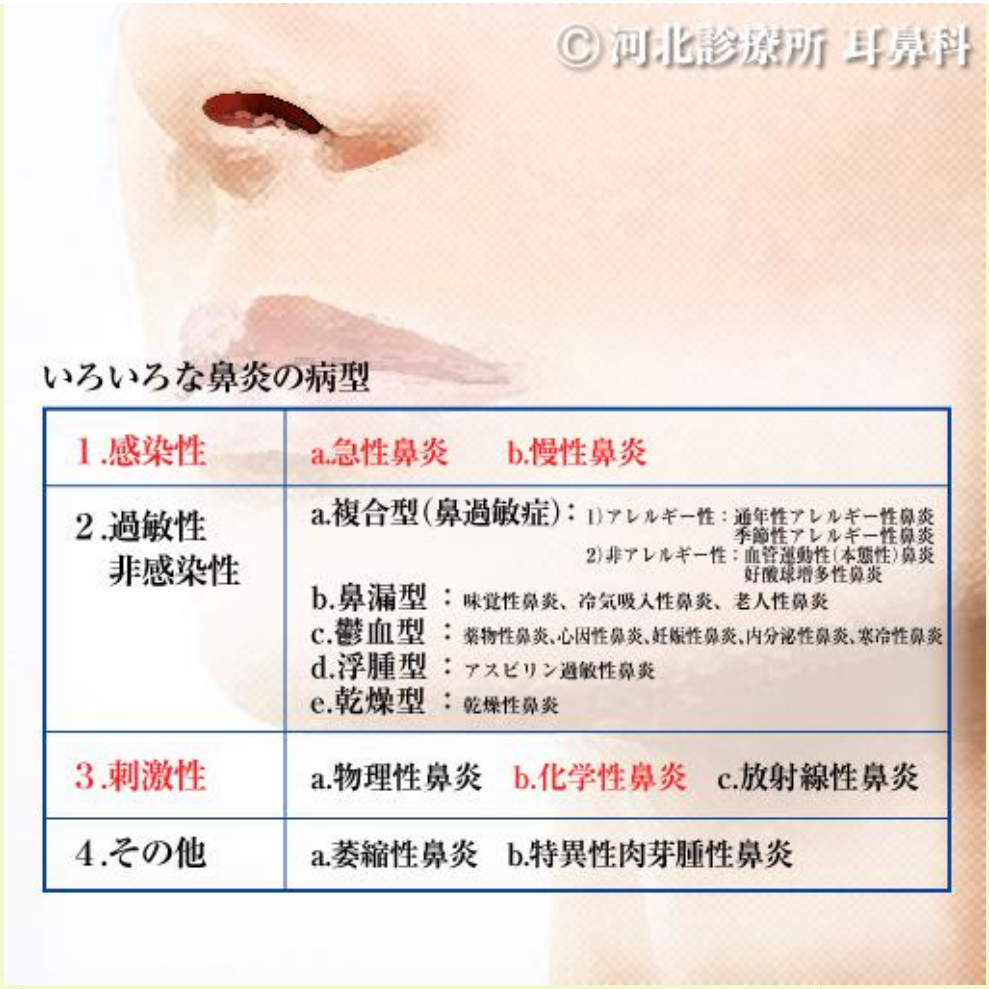
アレルギー反応とは、体内に入った物質に対して過剰に反応する状態を云います。反応には、いろいろなタイプがありますが、花粉症のように吸入して間もなくくしゃみ、鼻水などが生じるタイプを即時型アレルギーと云い、別名１型アレルギーとも云います。

アレルギー反応を生じる物質をアレルゲンと云い、吸入アレルゲンでは、スギ花粉や家ダニ、ハウスダストなどが有名です。その他にも、ソバアレルギーやエビ、カニアレルギーの

ように、ある種の食物タンパクに対するアレルギー反応があります。

くしゃみ、鼻水、鼻閉、目のかゆみなどはアレルギー反応の特徴的な症状ですが、細菌やウイルス感染による鼻炎では、発熱、寒気、咽の痛みなどの症状が加わります。

更に、化学物質過敏症の場合には、めまい、異常知覚、不安、不眠、抑うつなどの精神症状が出てくることがあります。



鼻炎を分類すると、感染性、過敏性非感染性、刺激性、その他と大きく４型に分けることができます。感染性は、いわゆる風邪や感冒などによって生じる鼻炎で、過敏性非感染性にはアレルギー性鼻炎が含まれます。

アレルギー性鼻炎は、１年中症状がある通年性アレルギー性鼻炎と、花粉症のような季節性アレルギー性鼻炎とに分けられます。化学物質過敏症などは、刺激性鼻炎に含まれております。

前のページ

次のページ

- アレルギー反応とは
- 鼻炎の病名とその定義
- アレルギー性鼻炎発症のなりたち
- いつ頃から増えて、現在はどうなっているか
- アレルギー性鼻炎の治療法
- 各治療法の特徴
- まとめ

Copyright 2006 Kahokushinryoujo All Rights Reserved.